

血液内科

スタッフ紹介



診療部長
くろだ じゅんや
黒田 純也
教授（H8）
血液内科学

しむら 志村 つかもと 塚本	ゆうじ 勇司 たく 拓	准教授（H18）	血液内科学
ふじの 藤野 きもと 木元	たかひろ 貴大 やよい 弥生	学内講師（H21）	血液内科学
おかもと 岡本 ながた 長田	はるや 明也 ひろあき 浩明	助教（H24）	血液内科学
にいやま 新山	ゆい 佑生	助教（H22）	血液内科学
		病院助教（H27）	血液内科学
		病院助教（H28）	血液内科学
		病院助教（H29）	血液内科学

私たちの業務

◆ スムースで素早い対応

血球数や血液像、白血球分類などに異常があったりリンパ節腫脹やM蛋白などがある際は気軽に御相談ください。また、急性白血病を始めとする血液疾患は治療開始に一日を争うことがあります。そのための検査は随時施行し、極力早く治療を開始します。対象疾患の特性上在院日数も長くなりがちですが、外来診療ならびに関連施設との連携を図ってスムーズな診療に努めています。

◆ 最新の診断技術と治療

医学技術は日々進歩していますが、最新の診療技術と十分なインフォームドコンセントで診療します。カンファレンスでは全例について多角的に検討し、最善の医療を目指します。

日本成人白血病多施設共同研究グループ（JALSG）ならびに日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）など、多くの多施設共同研究グループにコアメンバーとして参加して、最新の治療研究プロトコルへの参加も可能です。造血幹細胞移植、CAR-T細胞療法、新規開発中の分子標的療法や抗体療法の治療研究にも積極的に取り組んでいます。

◆ 可能な限り外来治療でQoL向上

血液疾患は多くの場合、初回治療導入には入院を要しますが、患者様の病状に応じて、可能な限り外来で治療できるようにします。

◆ セカンドオピニオン

治療法の進歩により多くの治療オプションが得られるようになり、その選択も患者様の人生観により変化します。セカンドオピニオンの重要性も増しており、その求めにも可能な限り対応いたします。

また患者様からのご希望で他専門医へのセカンドオピニオンを求められる際には、紹介状を準備します。

外来診療担当医師予定表

令和8年5月1日現在

	月	火	水	木	金
初診、再診	黒田	藤野	黒田 志村	谷脇 塚本	木元 長田

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
再生不良性貧血	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、 免疫抑制療法（抗胸腺細胞グロブリン、シクロスポリン）、 蛋白同化ホルモン療法、TPO受容体作動薬同種造血幹細胞移植	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院
鉄欠乏性貧血	原因精査（消化管検索、子宮筋腫）、鉄剤内服	外来診療
その他の貧血	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 鑑別診断	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院
急性白血病	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、化学療法、自家造血幹細胞移植、 同種造血幹細胞移植、分子標的薬、CAR-T細胞療法	救急入院 JALSGプロトコール参加登録可能
慢性白血病	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、化学療法、分子標的療法、 同種造血幹細胞移植	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院 JALSGプロトコール参加登録可能
その他の骨髄増殖疾患	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、化学療法、 同種造血幹細胞移植	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院
骨髄異形成症候群	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、化学療法、アザシチジン、エリスロポエチン製剤 同種造血幹細胞移植	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院 JALSGプロトコール参加登録可能
悪性リンパ腫	リンパ節生検、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、 病期決定のための検査（CT、MRI、PET） 化学療法、分子標的療法 自家造血幹細胞移植、同種造血幹細胞移植、CAR-T細胞療法	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院 がん薬物療法部と協力し可能な限り外来で治療 JCOGプロトコール参加登録可能
多発性骨髄腫	骨髄検査、染色体分析、フローサイトメトリー、 遺伝子検査、PET全身骨レントゲン、免疫電気泳動 化学療法、プロテアソーム阻害剤、免疫調節薬、 抗体療法 自家造血幹細胞移植、同種造血幹細胞移植、CAR-T細胞療法	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院 JCOG、日本骨髄腫学会 各プロトコール参加登録可能
特発性血小板減少性 紫斑病	ヘリコバクターピロリ菌の検索、除菌治療 副腎皮質ホルモン、脾摘、免疫抑制療法、 γグロブリン大量療法、TPO受容体作動薬	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院
その他の出血性疾患 凝固異常疾患	鑑別診断	外来診察後入院or外来診療 必要に応じて救急入院

2025年度診療実績

延べ入院患者 10,195人 平均在院日数 14.2日
新規入院 608人 外来 11,899人

府立医大 血液内科 医局 TEL 075-251-5740 FAX 075-251-5743

URL <http://www.kpum-hematology.net/>

救急対応 内科外来 TEL 075-251-5020（外来時間帯）
救急外来 TEL 075-251-5645・5646